

4 月 16 日（日）に行われた平成 29 年春期の情報処理技術者試験について、今回 3 回目の実施となった情報セキュリティマネジメント試験（以下 SG 試験）の合格発表がありました。試験に関する統計データをもとに、全体の得点分布と合格率関連の情報をお知らせします。

■情報セキュリティマネジメント試験(SG)

〔平成 29 年春期の情報セキュリティマネジメント試験 統計情報〕

応募者	21,162 人
受験者	17,045 人
合格者	11,324 人
合格率	66.4%

試験結果は合格率が 66.4%で前回の 70.3%，前々回の 88.0%から下降傾向ですが、まだまだ高い合格率といえます。受験者の半数近くが IT 関連業務に従事していることから、試験内容は適切でも得点は高い結果になったといえます。

問題の難易度について、発表された統計データから計算した午前試験の平均点の推測値は 70.6（前回 70.4 点，前々回 81.1 点）で前回とほぼ同じです。しかし、午後試験の平均点の推測値は 68.2 点（前回 72.8 点，前々回 81.7 点）で 5 点弱下がり、午後試験で苦勞した方が増えたことがわかります。

今回の試験の傾向や特徴を少し細かい内容でまとめると、次のようになります。

〔午前問題〕

- ・今回の出題数としては、SG 試験の重点分野のテクノロジー（セキュリティ）が 30 問、ストラテジ（法務）が 5 問の計 35 問（7 割）あり、前回とくらべ法務が 1 問減りました。その他の出題分野としてはマネジメントが 8 問（前回 8 問）、テクノロジーが 3 問（前回 3 問、システム構成要素、データベース、ネットワーク）、ストラテジ 4 問（前回 3 問）でした。
- ・新試験 3 回目の実施ですが、過去問題は前回とほぼ同じで全体の約 5 割ありました。出題された過去問題としては基本情報技術者試験が 7 問（前回 10 問）、応用情報技術者試験の過去問が 10 問（前回 11 問）あり、応用情報からの過去問が多いことが特徴的でした。
- ・他の試験でこれまでに出版されていない新傾向といえる問題は 11 問ありました。

問 1 ISMS に関するリーダーシップ及びコミットメント

問 2 自社のセキュリティ対策に加えて実施状況を確認すべき対策

問 3 JPCERT/CC が作成したもの

問 5 リスクマネジメントを効果的なものにするために順守すべきこと

問 6 リスクマネジメントを構成する活動の実行順序

問 7 リスクレベルの定義

問 9 暗号の危殆化

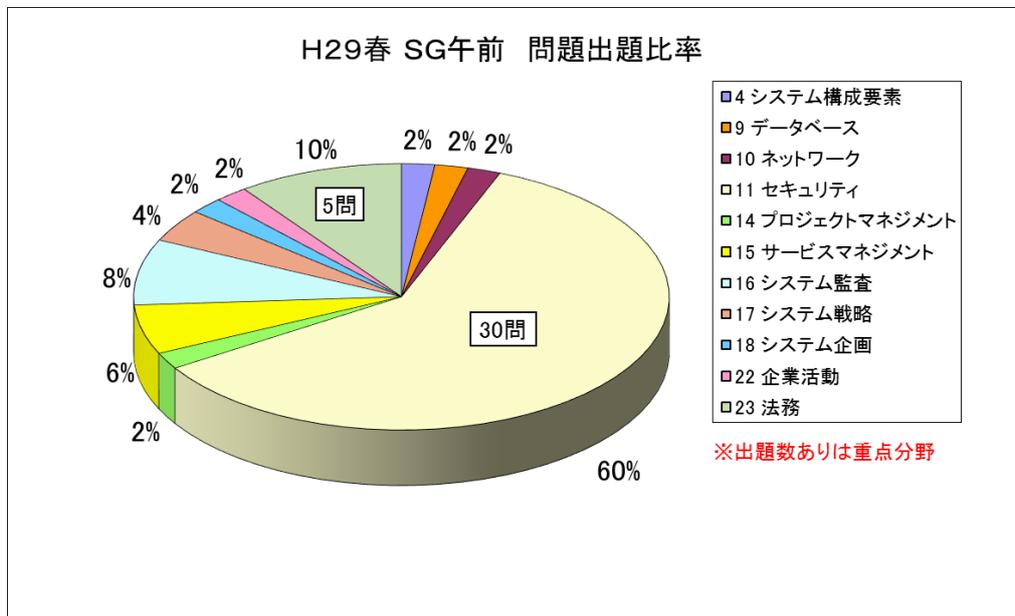
問 11 組織の管理下で働く人々が認識をもたなければいけないこと

問 14 内部不正による漏えいの可能性を早期に発見する対策

問 25 失効したデジタル証明書の一覧を示すデータ

問 46 Web サーバに HTTP でアクセスしたときのエラー

平成 29 年春期の情報セキュリティマネジメント試験



今回出題されたセキュリティ分野の問題は、これまでの 2 回の試験と比べて技術寄りの問題が減り（5 問→2 問）、暗号化と認証の問題が多くなっています（3 問→6 問）。サイバー攻撃が日々行われている現状を考えると、今後はまた技術寄りの内容が増える可能性もありますので、攻撃の種類と内容については、十分理解しておく必要があります。

〔午後問題〕

今回の午後問題の出題テーマは次のとおりでした。

問	テーマ	内容	難易度
1	マルウェア感染への対応	ランサムウェア、マルウェアの特徴、想定被害と費用、報告内容、ルール不備、可用性対策	普通～やや難
2	クラウドサービスを利用した情報システムの導入と運用	システムのメリット、セキュリティ対策、システム利用に関する検討、アカウント及び操作権限の管理	普通
3	オフィスの物理的セキュリティ	レイアウト問題点の改善案、ログ抽出条件、リスク対応、施錠方式、コールセンターのセキュリティ対策	普通

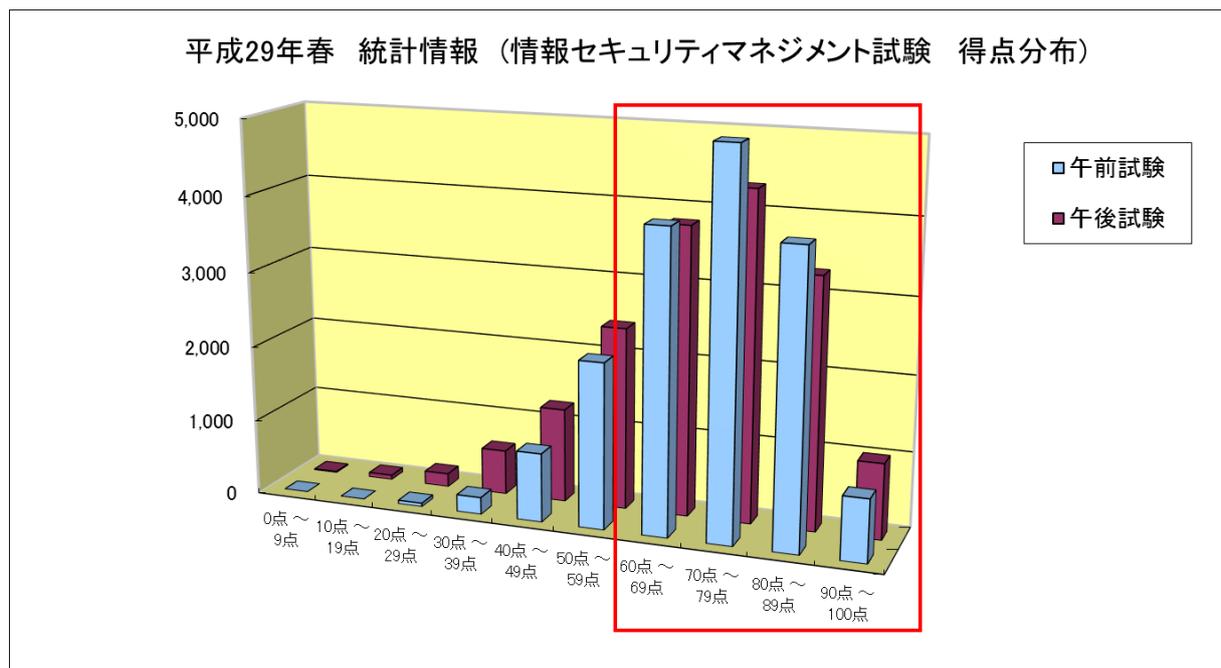
全体に問題のボリュームが前回と同様に多く、どの問題も 10 ページ以上ありました。すべて必須問題なので、問題文を根気よく丁寧に読んで解答する必要があります。読解力を付ける問題演習が重要です。問題ごとに解答するマーク数が異なりますが、平均で約 10 個の解答マーク数でした。

次回以降も同じ問題ボリュームと思われますが、1 問に 30 分かかけられることを意識して、長い説明文をあせらずに読み、内容をしっかり理解するようにしてください。問題集などで演習を解答時間 30 分と決めて行うことを解答の途中でやめることなく、最後の時間まで解ききるようにして、実践力を付ける必要があります。

試験センターから発表された SG 試験の得点分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。

〔平成 29 年春期 統計情報(情報セキュリティマネジメント 得点分布)〕

得点	午前試験	午後試験
0 点 ～ 9 点	0	14
10 点 ～ 19 点	0	59
20 点 ～ 29 点	46	178
30 点 ～ 39 点	226	594
40 点 ～ 49 点	913	1,250
50 点 ～ 59 点	2,187	2,414
60 点 ～ 69 点	3,957	3,806
70 点 ～ 79 点	5,034	4,318
80 点 ～ 89 点	3,852	3,303
90 点 ～ 100 点	830	1,003
計	17,045	16,939
午前と午後の差		(106)
合格者数	11,324	合格者数との差
午前 60 点以上合計	13,673	2,349
午後 60 点以上合計	12,430	1,106



今回の結果を少し詳しく分析すると、午前試験で合格基準点の60点以上の方が13,673人いて、受験者の80.2% (前回78.9%) になります。前回と同様、受験者のレベルが高かったといえます。また、午後試験が基準の60点以上だった人は12,430人で受験者の73.4% (前回80.9%) いて、こちらは前回よりも得点が低くなっています。

【次回試験に向けて】

今回の SG 試験の結果もまだまだ高い合格率 66.4%（前回は 70.3%）といえますが、合格者の内訳を見ると、社会人は 69.1%の高い合格率ですが、学生では 35.5%にとどまっています。合格者数は社会人の方が 2 倍近く多いことから、業務で日常行われているセキュリティ対策関連の基礎知識をしっかりと理解しておく必要があることが分かります。

SG 試験は IT を利活用する立場で業務に従事する人のための試験ということを考えると、出題内容と試験レベルは合っていて、特別に易しい問題ばかりだったとはいえません。次回の試験対策として、過去の 2 回の出題内容を理解し、IPA で公表されているセキュリティ関連のガイドラインや事例を理解しておきましょう。セキュリティの基礎知識の理解と午後の長文問題への対応力をしっかり身につけて受験してください。

弊社アンケートによると、情報セキュリティマネジメント試験を受験される方で、次に受験したい試験種別は**基本情報技術者**と答えた方が多く見受けられるようでした。

次回の情報処理技術者試験に向けた試験対策は弊社のオンラインストアをご覧ください。

(<https://www.itec.co.jp/store/>)

itec